

(一般情報)

「令和元年度経営体育成事業 作物研修会」の開催

長生農業事務所改良普及課 令和2年2月28日発

農業事務所では、2月18日に「令和元年度経営体育成事業 作物研修会」を開催したところ、生産者等約50名の参加がありました。近年、水稻経営においてスマート農業が注目されています。そこで本研修会では、施肥量の適正化によって倒伏抑制につながる「可変施肥田植機」と、広範囲の生育状況を把握する「衛星画像分析システム」について、管内で本年度行った実証試験の結果を報告しました。また、令和2年から一般栽培が開始される水稻新品種「粒すけ」の栽培管理方法、令和元年産に多発した斑点米の対策、さらに、台風により育苗用ハウスが被災し、育苗場所の不足が懸念されるため、必要苗箱数の削減技術として「厚播き」と「疎植栽培」について情報提供を行いました。

今後も農業事務所では、生産現場の課題を研修会の内容等に反映し、生産者の経営安定を支援します。



実証試験の結果を報告



「粒すけ」の試食会